

「特産種苗」バックナンバー

当協会のホームページに、PDF版を掲載しています。
「特産種苗 情報誌」で検索してください。

号	発行年月	特集内容
1	2009年1月	創刊号、雑豆（小豆、菜豆、その他）
2	2009年4月	雑穀（アワ、ヒエ、キビ、その他）
3	2009年7月	ハトムギ
4	2009年9月	雑穀類の生産状況（平成17～20年産）
5	2009年10月	油糧作物（ナタネ、ヒマワリ、ゴマ、オリーブ）
6	2010年1月	甘しょ
7	2010年4月	ばれいしょ
8	2010年8月	アマランサス・キノア
9	2010年11月	雑穀類の生産状況（平成17～21年産）
10	2011年3月	ソバ
11	2011年8月	6次産業化
12	2011年11月	甘味資源作物
13	2012年2月	雑穀類の生産状況（平成18～22年産）
14	2012年10月	品種の収集・保存・配布
15	2013年1月	雑穀類の生産状況（平成19～23年産）
16	2013年9月	薬用植物
17	2014年1月	雑穀類の生産状況（平成20～24年産）



編集後記

【編集後記】

本号では特集として「雑穀・豆類の機械化」を取り上げました。

農業分野における機械化は、農家の高齢化・人手不足を補う上で、さらには農作業を効率化する上で欠かせないものです。

我が国では稲、麦等の主要作物において専用の機械が開発され、機械化が進展しています。一方、雑穀等の地域特産作物においては栽培面積が小さく、また、単価も比較的安価であるため、雑穀専用の機械開発は困難であったといわれています。

このような中で、近年、農林水産省の農業機械等緊急開発事業（緊プロ事業）により雑穀にも利用可能な汎用コンバインや落花生向けの収穫機が相次いで開発されました。

また、地域では既存の他作物用の機械を改良・利用した取り組みも出現してきています。

本稿では、これまであまり進展してこなかった雑穀の機械化について、既存の他作物用の機械を改良・利用している事例も含めて開発状況を、研究機関、普及機関等からご紹介していただきました。

また、併せて、大型機械になりますが、大豆、小豆の機械化についてもご紹介いただきました。

お忙しい中、ご寄稿下さいましたご執筆者の方々に心より御礼申し上げます。

本特集号が各地域での雑穀等地域特産作物の機械化を図る上で参考となり、地域の振興・発展の一助となれば幸いです。

（佐々木記）

発行日 平成26年9月25日
発行 公益財団法人 日本特産農作物種苗協会
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4番1号
白亜ビル 3階
TEL 03-3586-0761
FAX 03-3586-5366
URL <http://www.tokusanshubyo.or.jp>
印刷 (株) 丸井工文社

よき結果を
よき者へ
たき
よき
種を

實業